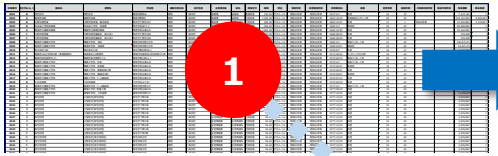
小規模自治体において公共施設を持続的に維持・活用するための、職員中心で実施可能な公共施設マネジメントの仕組みの構築『ふじさとモデル』概要

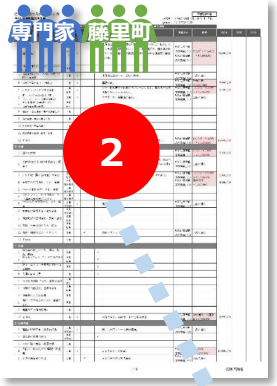
1.施設台帳の整備

専門家 藤里町



2.チェックリストの仕様作成

専門家 藤里町

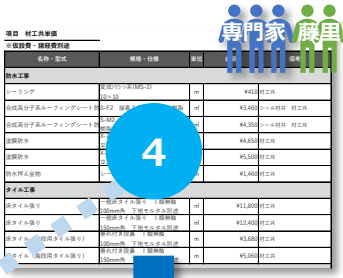


3.建物定期点検の実施

専門家 藤里町

4.工事費用の積算

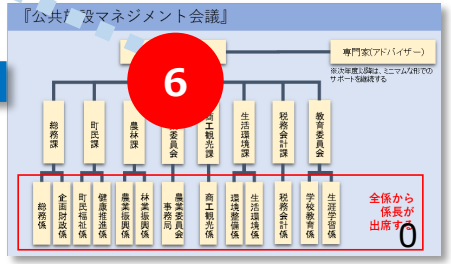
専門家 藤里町



5.修繕計画の仕様作成

専門家 藤里町

6.庁内検討体制の確立



7.マネジメント会議での検討

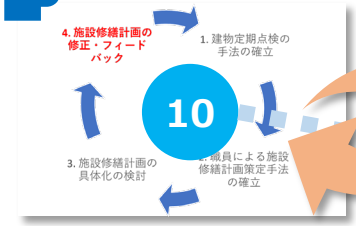
8.専門家のサポートが必要な修繕計画の対応

専門家

検討事項	A案 RC造で建替え	B案 既存の施設を改修・補強	C案 敷地内に新規上表面平屋にて建替え
耐震の課題		解決する	解決する
設計の根本的な課題		解消しない	解消する
改善後のメンテナンスコスト		変化なし	面積減により、減少する
継続的な営業		不可 9か月	可能
VE(Value Engineering)提案あり		なし	あり
概算コスト		10億1,100万円	6億5,900万円
判断	× 再建築コスト・維持管理コストが最大であり、継続的な営業が行えないため不可	× コスト大、継続営業不可に加え、根本的な設計の課題が残るので不可	○ 今後、詳細な検討を継続する

9.予算連動のしくみ構築

10.実施結果のチェック



公共施設マネジメント会議